

令和3年度第3回日進市行政改革推進委員会 議事録

日 時 令和4年2月3日(木) 午後2時から午後2時50分まで

場 所 日進市役所本庁舎4階第3会議室

出 席 者 齊藤由里恵、金澤敦史、浅見公彦、志水佳三、恒川孝司、三隅晋吾、岩佐智生、
上田信子(敬称略)

欠 席 者 小芦圭吾(敬称略)

事 務 局 和田徹(総合政策部調整監)、杉田武史(同部次長兼企画政策課長)、安彦直美
(同課課長補佐)、山浦勝義(同課企画経営係長)、中根友樹(同課同係主事)

説明のために出席したもの 岡部功(都市整備部次長兼下水道課長)、大嶺大生(同課課長補佐)、渡邊好重
(同課計画工務係長)

傍聴の可否 可

傍聴の有無 2人

次 第 1 開会
2 あいさつ
3 答申
4 議題 (1) 令和3年度事務事業の外部評価への対応について
(2) 本市における官民連携について
5 閉会

配 付 資 料 令和3年度事務事業の外部評価について(答申)
資料1 令和3年度事務事業の外部評価結果への対応について
資料2 令和3年度事務事業の外部評価アンケート結果(傍聴者・評価員)
資料3 本市における官民連携の取組について

| 発 言 者 | 内 容 |
|---------|---|
| 事 務 局 | 1 開会 |
| | 2 あいさつ |
| | 3 答申 令和3年度事務事業の外部評価について(答申) |
| | 4 議題 |
| 会 長 | 議題(1)令和3年度事務事業の外部評価への対応について、下水道課から説明をお願いします。 |
| 下 水 道 課 | (資料1に基づき説明) |
| 会 長 | 下水道の整備か合併浄化槽の推奨か、何を基に判断していくかがこれから重要だと思えます。市民にとっての経済性、行政にとっての経済性は一体どのようなものなのか、また、長期的な人口構造についての視点も含めながら検討されていくことと思えますが、市民にとっては内容が見えづらい部分もあると思えますので、わかりやすく説明することを心掛けて今後の事務事業を進めていただければと思えます。 |

| 発 言 者 | 内 容 |
|-----------|---|
| 会 長 | 続きまして、議題(2) 本市における官民連携について、企画政策課から説明をお願いいたします。 |
| 企 画 政 策 課 | (資料3に基づき説明) |
| 委 員 | 指定管理者制度の主な効果に経費の削減という記載があります。本制度は平成18年からスタートし、かなり時間が経っておりますので、経費削減も限界にきているのではないのでしょうか。公務員の給料は民間企業の平均であることから、指定管理者制度の導入によって人件費が大きく下がるとは考えづらいですし、指定管理者が雇用するパートやアルバイトの方についても、同一労働・同一賃金の考え方から今後人件費は上昇していくものと思われまます。民間企業が資金に困って、人件費以外の部分、管理・検査部門にしわ寄せがいき、不祥事として報道されてしまうような事案も見受けられます。無理な経費削減を求めるのではなく、適正なものを適正な価格で、という考え方で進めていってほしいと思います。また、主な効果の部分には市民サービスの向上もあります。5ページの管理者一覧を見てみますと、現指定管理者の多くは専門性の高い事業者がみえます。経費削減よりも専門性の高さというものを重視するような仕組みになるとよいと思います。 |
| 企 画 政 策 課 | 指定管理制度の導入施設は、現在かなりぎりぎりのところで経費節減をしている部分があります。これ以上無理な節減を求めるよりも、専門性の高い企業が管理することで市民が利用しやすくなったり、文化教養がより得られるようなものになったりするよう、制度の見直しにも取り組んでいければと考えております。 |
| 会 長 | 今おっしゃっていただいたように、専門性ということは重要だと思いますし、施設をある程度縮減していくというのも重要なことかと思えます。その中で、今ある施設をより有効に活用するため、ガイドラインを策定する際は今いただいた意見も踏まえながら、どこを目指していくのかをしっかりと定めてください。 |
| 委 員 | 資料の6ページに包括連携協定を結んでいる企業の一覧がありますが、様々な業態の企業と締結されています。何がきっかけで締結に至ったのでしょうか。概括でよいので教えてください。 |
| 企 画 政 策 課 | 締結先の多くは、企業側からお声がけいただき締結に至っております。一番上に記載のある3者は、赤池に大型商業施設ができた際に締結したもので、今後の集客を見込み、協力して地域の活性化を進めていこうという趣旨で協定を結んでおります。それ以降の協定については、基本的に企業側からの声かけで、お話をししていく中で連携内容が様々な分野にわたると判断し包括協定を結んだものです。 |
| 委 員 | 企業からお話をいただく、というのは具体的にどのようなことでしょうか。 |
| 企 画 政 策 課 | 例えば、地域貢献を進める目的で協定を結ぶ、という方針を企業として打ち出し、県単位で協定を結んだ後、市町村レベルにもお声がけをしている、というお話を伺っております。 |
| 委 員 | 包括連携協定と個別協定の違いと、わかりやすい例があれば教えてください。 |
| 企 画 政 策 課 | 個別協定として例を挙げると、高齢者等地域見守り推進事業協力に関する協定 |

| 発 言 者 | 内 容 |
|-----------|---|
| | <p>がございます。内容としては、高齢者で、認知症を患っているために徘徊してしまう方や、自宅を訪問した際に新聞等がたまっている方を見守っていただくよう、所管課が事業者と結ぶ協定です。包括連携協定は、それ以外にも、例えばスポーツイベントの実施や子育て支援等、企業が持っている多様なチャンネルで連携できる場合に締結するものです。</p> |
| 委 員 | <p>株式会社セブン&アイ・クリエイトリックとの取組がいくつか記載されていますが、これは本当に連携で目指すべき事業でしょうか。取組を見ると単発実施と思われるものが多く、取り組んだ結果をもって次の事業に繋げていくようなものではないように思えます。そういった視点で、市はどのように捉えているのか教えていただきたいと思います。</p> |
| 企 画 政 策 課 | <p>委員がおっしゃったことは、まさに課題と捉えているところです。正式には地域活性化包括連携協定という名で締結しているこれらの協定ですが、特にセブン&アイ・クリエイトリックは施設を管理する会社ですので、どうしても施設利用的な取組を一度実施して終わりというものが多くなっております。そのため、ガイドラインの中では、実施した後の効果検証や事業の改善といった点をルール化したいと考えております。</p> |
| 会 長 | <p>今後検討を進められるということですので、企業、個人の立場それぞれからガイドラインが活用しやすくなるようなご意見をいただけるとよいと思います。今後、この会で意見を集めるご予定でしょうか。</p> |
| 企 画 政 策 課 | <p>現在連携している企業からもご意見をいただく予定です。また、正式な案ができましたら、本委員会でもご意見をいただきたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。</p> |
| 会 長 | <p>8 ページを見ると、「現在のやり方にこだわらず」という部分から、問題意識を持たれていることが分かります。また、10 ページに企業へ課題を提示し提案をしてもらう旨の記載がありますが、企業側が課題に気づいていないということがあると思いますので、企業からどんどん提案がもらえるような枠組みが必要だと思いました。</p> <p>日進市は人口がどんどん増えていて住民にも若い人が多いため、投資しがいのある地域だと思います。指定管理等も含め、民間の投資を促すようなやり方ができる地域だとも思いますので、新しく今まで以上に効果が出せるやり方が必要です。色々な提案をもらう、というやり方はすごくいいのではないかと思いますので、実現した提案を適切に開示し、他の事業者が参考にできるような情報開示の仕方でも進めることも検討していただければと思います。他自治体で取り組まれているところを参考にしつつ、日進市らしさが出るような形で進めていただきたいと思います。</p> <p>最後に1つ質問です。今回、新型コロナウイルス感染症の流行の中で、ワクチン接種など地方自治体が主体となって実施する事務は多かったと思いますが、そう</p> |

| 発 言 者 | 内 容 |
|-------|---|
| 企画政策課 | <p>いったところで、こういった協定のもとに進めたような事業はありましたか。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策の取組として、ソフトバンク株式会社から検温器を無償貸与していただいたり、大塚製薬株式会社からワクチン接種会場で活用できる飲料の提供を受けたり、といった取組はございました。ワクチン接種ではトヨタ自動車株式会社と接種に関する個別の協定を結び、会場の提供や人的支援等ご協力いただきました。</p> |
| 会 長 | <p>協定を結んでおくと、有事の際にうまく機能することもあります。日頃からコミュニケーションをとっておくことも重要かと思います。地方創生全体を見ていく中で、職員のマネジメント力の部分がコロナ禍を通じ差が出てきたところだと考えており、財政格差よりもその部分が地域の格差を埋めていくのではないかと思います。ワクチン接種を例に考えると、都市の規模など条件に違いがあるにせよ、住民にとってやりやすい方法で実施したり、予約の仕方を工夫したりと、こういったところが今後もあるのではないかと思います。協定を結んでおく、地元の企業と日頃からコミュニケーションをとっておく等、何かあった際にこう言った取組が色々なところで生きることになります。日進市らしい、日進市モデルを作っていたらいいと思います。</p> |
| 委 員 | <p>日進市の地域特性を生かし、官・民・学連携としてはいかがでしょうか。日進市には、大学が多く設立されております。官民連携はどこ自治体も同じような取組をしておりますので、日進市の地域特性を生かした取組としていただきたいです。ワクチン接種を例に挙げると、市と大学の包括連携協定に基づき、市内大学の職域接種の中で日進市の職員の方の一部も接種いただくという取組がありました。どの大学も地域連携という部分に力を入れておりますので、大学も巻き込んで、様々な施策を実施してはいかがでしょう。若者のアイディアは、我々では思いもつかないような新しい発想であることもありますし、例え住民票がなくとも日進でアパートを借りているような学生もおりますので、そういった「学」の部分で官民連携に組み込むことでいい取組ができるのではないかと思います。現在は企画政策課が担当されていると思いますが、できれば将来的に官民学連携課のようなものや窓口が作られることで、常に連携を活性化できるような構造的な仕組みを作られるとより取組が進むのではないかと思います。</p> |
| 会 長 | <p>民間企業でも、どこに問い合わせたらいいのか分からないということがあろうかと思いますが、そのような際にはここに問い合わせればいいというのが分かるような情報発信も必要だと思います。また、先ほど委員がおっしゃったように、大学が多いということは昼間の人口が多いということですので、夜間は学校の施設が空いているということになります。そういった部分の活用も含めた検討を進めていただければと思います。</p> |
| | 5 閉会 |